

リニア駅設置自治体連携協議会要望

日時：令和2年10月26日（月）

参加者：相模原市、甲府市、飯田市、中津川市、名古屋市

訪問先：国土交通省	栗田卓也	事務次官
	石田優	総合政策局長
	中原淳	国土政策局長
	榑真一	都市局長
	渡邊浩司	都市局技術審議官
	宇野善昌	道路局次長
内閣府	眞鍋純	地方創生推進事務局長
	長谷川周夫	地方創生推進事務局審議官（同席）

国土交通大臣 赤羽 一嘉 様

要 望 書

リニア中央新幹線駅設置自治体連携協議会

リニア中央新幹線の開業による効果を

広域に波及させるためのまちづくりに関する要望

人口減少下にある我が国において、リニア中央新幹線の開業は、東京・大阪間の時間距離の大幅な短縮による対流の活発化及びそれによる新たな価値の創造を図り、これから迎える本格的な知識集約型社会において、我が国全体の持続的な成長につなげていくコアとなるスーパー・メガリジョンを形成するものです。

リニア中央新幹線の駅設置自治体である相模原市、甲府市、飯田市、中津川市及び名古屋市では、平成28年2月に「リニア中央新幹線駅設置自治体連携協議会」を立ち上げ、地域間連携を深めるとともに、各都市の課題を整理・共有し、リニア時代のまちづくりの推進に向けた協議を重ねて来ました。

リニア時代における我が国の持続的な成長と社会的課題を解決するためには、リニア駅設置自治体として、スーパー・メガリジョンの効果を広域的な地域へと拡大し、自治体の境界を越えて地域間で相乗し補完し合う魅力的かつ持続的な圏域の形成に寄与する必要がありますと考えております。

その実現に向けて、時機を失せず、リニア駅周辺地区のまちづくり及びリニア駅を核とした高速交通ネットワークを整備することで、多様な人材が活発に行き交う知的対流拠点の形成に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、「リニア中央新幹線駅設置自治体連携協議会」として、次のとおり要望させていただきますので、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1 リニア駅周辺地区のまちづくり及びリニア駅を核とした高速交通ネットワークの整備をスーパー・メガリジョン関連プロジェクトとして位置付け、都市再生の新たな取り組みとして強力に推進していただきたい。

2 整備には相当規模の投資が必要であり、時機を失せず着実に進めるため、国家的プロジェクトとして制度を創設・拡充し、特別な財政措置を講じていただきたい。



令和2年10月

リニア中央新幹線駅設置自治体連携協議会
相模原市長 本村 賢太郎
甲府市長 樋口 雄一
飯田市長 牧野 光朗
中津川市長 青山 節児
名古屋市長 河村 たかし